

## 市民公開講座開催の進捗状況について

### 滋賀県立成人病センター リハビリテーション科 中馬 孝容

日本リハビリテーション(リハ)医学会では、リハ医学啓発活動事業として各地方都市で市民公開講座を開催し、広くリハ医学の啓発活動を行っております。2009年度は、滋賀県と新潟県において市民公開講座の開催が決定しました。日本リハ医学会が主催で、近畿地方会は企画・運営の立場で開催します。滋賀県在住の幹事3名で企画を検討しております。現時点での進捗状況について御報告いたします。  
平成22年2月13日(土)、ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

ピアザホール(滋賀県大津市におの浜1丁目1番20号)にて開催する予定です。「いきいきと暮らすために ～暮らしの中での工夫～」ということテーマとして、日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授 植田耕一郎先生には、「しっかり噛んで食べる。」ということについて、東京大学大学院教育学研究科身体教育学講座教授 武藤芳照先生には、「しっかりと歩く。」ということについて、滋賀医科大学附属病院病院長 柏木厚典先生には、「メタボリックシンドローム対策を考える。」ということについて講演をしていただく予定です。

参加申し込みは、滋賀県立成人病センターリハ科中馬まで、ハガキかFAXで、氏名・連絡先を明記の上お申し込みください。定員は会場の都合にて400名です。  
患者様をはじめご興味のある方々のご参加をお待ちしております。

## 近畿地方会研修会カレンダー

### 2009年9月5日 13:00～17:30 日本リハ医学会近畿地方会 第27回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

会場:大阪医科大学 新講義実習棟 P101室(高槻市大学町2-7 Tel:072-683-1221)

JR高槻駅から徒歩10分、阪急高槻市駅から徒歩7分 ※できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

演題1:『脳外傷による高次脳機能障害と職能訓練』 名古屋市総合リハビリテーションセンター 第二リハビリテーション部長 小川 鉄男  
演題2:『腰痛症に対するリハビリテーションのエビデンス』 大阪医科大学 総合医学講座 リハビリテーション医学教室 講師 田中 一成  
参加費:1,000円、受講料:2,000円(20単位一括) 担当幹事:村尾 浩(大阪医科大学 総合医学講座 リハビリテーション医学教室)

### 2009年10月10日(土) 13:30～16:00 日本リハ医学会近畿地方会 第38回専門医・認定臨床医生涯教育研修会

会場:大阪市立総合医療センター さくらホール(大阪市都島区都島本通2丁目13番22号 Tel:06-6929-1221)

地下鉄谷町線「都島駅」2番出口を西へ徒歩約3分、JR大阪環状線「桜ノ宮駅」東出口を東へ徒歩約7分

演題1:『発達障害の見方とその対応について』 奈良教育大学 准教授 根来 秀樹  
演題2:『小児リハビリテーションの現状と今後の課題』 姫路市総合福祉通園センター 所長 宮田 広善  
参加費:1,000円、受講料:2,000円(20単位一括) 担当幹事:勝山 真介(東大阪市療育センター センター長)

### 2009年11月7日(土) 15:30～17:30 日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

会場:兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3 Tel 078-321-2131)

JR神戸線元町駅西口・阪神元町駅より北へ徒歩約7分、地下鉄県庁前駅東1・2出入口すぐ

演題1:『大阪・泉州圏域の地域リハビリテーションと脳卒中連携バス』 医療法人大植会葛城病院 リハビリテーション科 副院長 橋本 務  
演題2:『橈骨遠位端骨折の治療とリハビリテーション』 大阪市立総合医療センター 整形外科部長 香月 憲一  
参加費:2,000円(※但し、兵庫県リハビリテーション医学会会員は1,000円)、受講料:2,000円(20単位一括)  
担当幹事:中野 恭一(兵庫県立総合リハビリテーションセンター 中央病院)  
※当日は同じ会場で兵庫県リハ医学会学術集会が開催されます。

### 2009年11月29日(日) 14:00～16:00 日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

会場:京都府立医科大学付属図書館ホール(京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410 Tel:075-254-5400)

京阪「丸太町」駅下車徒歩10分、JR「京都」駅もしくは阪急「河原町」駅乗換、京都市バス「府立医大病院前」下車すぐ。

演題1:『がんのリハビリテーション』 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科 部長 田沼 明  
演題2:『緩和ケアとリハビリテーションに望むこと』 滋賀県立成人病センター 緩和ケア科 部長 堀 泰祐  
参加費:1,000円、受講料:2,000円 ※当日は同じ会場で第13回京都地域リハビリテーション研究会が開催されます。

### 2010年3月27日(土) 日本リハ医学会近畿地方会 第28回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

会場:滋賀県立県民交流センター ピアザ淡海(滋賀県大津市におの浜1丁目1番20号 Tel:077-527-3315)

JR「膳所」駅から徒歩12分、JR「大津」駅から京阪・近江バスなぎさ公園線約8分「ピアザ淡海」下車、JR「大津」駅からタクシー約5分

演題:未定 担当幹事:今井 晋二(滋賀医科大学 リハビリテーション部)

## 編集後記

リハ医学会のリハニュース 2009年4月号「リハ医への期待」は、全国パーキンソン病友の会大阪支部長 山崎芳子氏の投稿文であった。「パーキンソン病はリハしても治りませんよ」と念を押されて、ようやくリハビリテーション通院を受け入れてもらった患者さんの話を紹介し、「パーキンソン病のリハビリを重点的にしてくれる病院はなかなか見つからない」「現状を維持できればそれは効果だと思います・・・リハによりまだ残されている機能を引き出し、失いかけた機能を少しでも回復でき

ると私たちも未来に希望を持って生活できます。」と結んであった。

パーキンソン病にリハビリ効果があることは、私たちが日常臨床の中で経験している。しかし、エビデンスレベルの高い研究報告は少ない。診療報酬の制約の中でも、また、介護保険で受けるリハビリであっても、こうすればより効果のあがる訓練ができるというエビデンスを臨床研究の中で示すことが私たちの課題である。慢性期の患者さんのQOLを支えることも「リハビリテーション」の大きな意義であることは、言うまでもない。

兵庫医療大学リハビリテーション学部 野崎 園子